

# クリアライズの新たな取り組み

これからの時代は、カーボンニュートラルを目標とした複合的な技術の時代になります。温暖化による環境問題と効率的なエネルギーの創出など大きな課題の克服が急務であることは間違いありません。クリアライズは、エネルギー、自動車、半導体、環境など幅広い分野において、技術開発に貢献し、分析のプロフェッショナルとして社会に安心をもたらす会社を目指します。

## ESGの取り組み

受託分析事業を通じた  
クリーンエネルギー普及促進、  
カーボンニュートラル推進

### 課題・目標

中期経営計画最終年度23/6期までに電池(二次電池・燃料電池)開発関連業務及びクリーンエネルギー(原子力・風力・太陽光・水力・地熱・バイオマス)関連業務の受注合計9億円/年を実現

### 取組事項

- ・電池(二次電池・燃料電池)開発関連業務の受注拡大
- ・クリーンエネルギー(太陽光・風力・水力・地熱・バイオマス)関連業務の受注拡大
- ・その他カーボンニュートラル関連業務の受注拡大

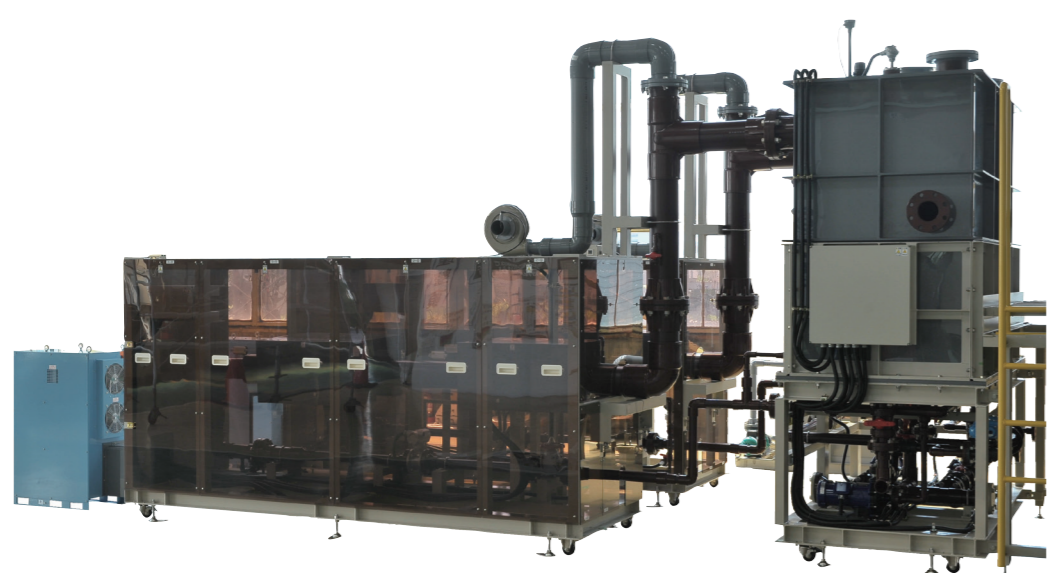
### 貢献するSDGs



### 環境配慮製品提供による社会貢献

クリアライズは、「廃水処理システムEleca®」を社会へ提供することにより、水質保全に貢献いたします。

Eleca®は、工場廃水、食品廃水、商業施設廃水などに含まれるCOD・BOD成分由来となる「有機物」や「アンモニア性窒素」などを電気分解の技術で処理するものです。電気分解は、気温などの外的環境に影響されことなく、安定に処理を実現する、これからの処理技術です。



## カーボンニュートラルへの取り組み

燃料電池、二次電池などの進化に伴う  
分析技術開発



テクニカルアドバイザー2名を招き、最先端の知見と技術を習得

堀場 達雄氏 | 三重大学リサーチフェロー兼 成蹊大学特別共同研究員  
東山 和寿氏 | 山梨大学客員教授

## 先端領域へのチャレンジ

### 全固体電池実用化研究会

全固体電池の社会実装に向けた企業連携による研究推進と人材育成に貢献することを目的とした全固体電池実用化研究会(大阪公立大学様2021年設立)が主催する2022年度第1回セミナーでのポスター発表に参加



### 「知の拠点あいち重点研究プロジェクトIV期」へ参画

2022年度愛知県の(公財)科学技術交流財団に採択されました「全固体フッ化物電池の開発とその評価技術の標準化」をテーマに名古屋大学を研究リーダーとして、当社はNMR分析による評価技術の標準化を目標にプロジェクトへ参画しています。

## WEB戦略

### 公式YouTubeチャンネルの開設

YouTubeにクリアライズ公式チャンネルを設置し、各分析サービスと実施例について紹介



### 360°カメラ バーチャルラボの ご紹介

360度カメラを使用したバーチャルラボ紹介で、ラボと装置の様子をご確認いただける仕組みを構築

